ミニデイサービス便り

食材豊富な昼食

「お父さん、今日の夕食はもう大根の煮物だけよ。お昼に栄養満点な食事だから」お迎えに来られた奥様からの言葉です。

ミニデイサービスの大きな楽しみに昼食があります。毎回、栄養は勿論のこと、手の込んだ手料理が作られていますが、この日も、利用者さんが何種類の材料が使われているのかを数えて下さった程の豊富な材料が使われていました。

殆どの方が、おひとり暮らしか昼間だけお一人の方が多いのです。中には、週２日のミニデイサービスは、大切な食事タイムの２日間かもしれません。食事はミニデイサービスの大きな効用のひとつです。

保育園での楽しみと発見

あいにくの雨。今日は保育園の春の遠足だったようだ。当然、遠足は延期だと思っていた。

乳児さんが、小さなリュックサックを背負ったまま、「まごころ」のミニデイサービスの場所にひとり、また一人と入り乱れて訪問してくれる。

その度に、ミニデイサービスの場所には和やかないい時が流れる。何とも言葉に出来ないほどその姿は可愛らしい。お年寄りの皆さんの顔がやすらぐ。昼食を終えたころ、雨はまだ降っていた。

ふと、外を見ると、雨カッパを着た園児さんが先生を先頭に列をなして歩いている。年長さんは、雨の中を歩いて遠足だったのです。朝からかなりの雨でした。小学校でさえ中止になる筈なのに、何といい決断をされる保育園だろうと思った。

雨の日だって歩かなければならない時がある。

最近は、生まれたときから車での移動が普通になっている子供達。「子供たちにはいい経験だわ」とお年寄り。お弁当は近くの小学校で食べられたようだ。園児たちの感想を聞くことが出来なかったけれども、きっと思い出深い遠足になったに違いない。保育園でのデイサービスはいつも楽しみをいただき何かを学びます。

6月のミニデイサービス

保育園 6/3、17　6/24 名古屋港水族館

ワーカーさんへ

梅雨の季節になりました。

食品がいたみやすい時期でもありますので、冷蔵庫の点検をこまめにして下さい。

買い物、保存、調理にについては、とりわけ注意をお願い致します。

6月の予定

1日（火）	会報「まごころ」発行 ２級ヘルパー養成研修講座 ミニデイサービス　（事務所）
2日（水）	２級ヘルパー養成研修講座 まごころ児童デイサービス
3日（木）	２級ヘルパー養成研修講座 ミニデイサービス　（保育園） サービス提供責任者会議
4日（金）	２級ヘルパー養成研修講座 まごころ児童デイサービス
5日（土）	２級ヘルパー養成研修講座 まごころ児童デイサービス
6日（日）	まごころ総会 ミニデイサービス高齢者発表会
7日（月）	まごころ児童デイサービス
8日～28日	２級ヘルパー養成研修講座（施設実習・訪問調）
8日（火）	「NPO法人移動ネット愛知」理事会
9日（水）	まごころ児童デイサービス
10日（木）	まごころふれあい広場耐震工事開始 サービス提供責任者会議
11日（金）	まごころ児童デイサービス　（保育園）
12日（土）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
14日（月）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿） 勉強会（知的障害児童について）　（瀬戸市市民会館）
16日（水）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
17日（木）	ミニデイサービス・定例会　（保育園） サービス提供責任者会議
18日（金）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
19日（土）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
21日（月）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
23日（水）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
24日（木）	ミニデイサービス・名古屋水族館へ サービス提供責任者会議
25日（金）	まごころ児童デイサービス（真宗田神社内開運殿）
26日（土）	まごころ児童デイサービス（エアフロントオアシスへ）
28日（月）	まごころ児童デイサービス（バスで乗って外出）
30日（水）	２級ヘルパー養成研修講座終了式

知的障害者・児へのふれあい広場

＊うさぎのパンさん＊

休止期間：６月10日～８月31日
販売再開は９月６日より

《精神障害者ホームヘルパー養成特別研修開催》

「まごころ」では、精神障害者ホームヘルパー養成特別研修を開催します。平成十四年度から各市町村を中心に、精神障害者居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）が実施されていますが、その養成ヘルパーの数は十分ではない状況です。精神障害に関する知識や精神障害者との関係づくりの方法等の習得をします。

◇受講資格・ホームヘルパー二級取得等
◇受講料・一八五〇〇円
◇場所・一宮スポーツ文化センター

日程		
7／10（土）	10：00～12：00	精神障害者に関する行政施策
	14：30～16：30	精神障害者に関する基礎知識
7／11（日）	10：00～12：00	ホームヘルプサービスの実際から
	13：00～15：00	家族への支援について
7／18（日）	10：00～12：00	精神障害者に対するサービスについて
	13：00～16：00	コミュニケーション上の要点について 継続的なサービス提供について 困難に遭遇したときの対応について
7／20～7／29まで内1日	施設研修 当事者とのコミュニケーションによる体験的理解	

～～～～～ある外科医の独り言～～～～～～～～～～～～～

ムンテラ

高　勝義

以前告知について書いたことがある。告知という言葉は自分は嫌いである。真実を話すとした方がよいのではないかという内容であったと覚えている。私はこの告知という言葉ともう一つムンテラという言葉が嫌いである。

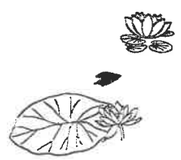
ムンテラとは Mund Therapie（ムントテラピー）ドイツ語で Mund（口）Therapie（治療）である。略してムンテラで、私が医者になった時からの医者仲間の言葉である。口で治療する。何となく口で言いくるめるという感じがしないではないだろうか。また例のごとく厭なことをいう奴だわいと思わないでいただきたい。

事実私はムンテラという言葉をずいぶん長く使ってきたのである。この言葉から私自身が感じてきたことは、患者さんに理解できるように十分説明をし、患者さんが納得した上で検査や治療を行ってきたとは思わないのである。ムンテラに秘められた言葉の意味には、こちらのいいように患者さんに話をし、こちらのいいように患者さんやその家族を、お話でもって誘導するという感じがしてならないのである。まさにパターナリズム（家父長制：家父・家長の支配権を絶対とする家族形態）を代表する言葉としか思えてならないのである。

告知と同様、ムンテラという言葉より、患者さんに説明をすると言う方がいいよと、相も変わらず医者仲間に話すのだが、なかなか聞き入れてもらえないのが現状である。医者仲間で古くから使われてきた言葉だから、何も今更と思っているのかもしれない。だが、私はこの言葉を使う中に、ムンテラという医者仲間の隠語の中に、医者としての特権、パターナリズムの姿を垣間見るような気がするのである。

医療者と患者とはパートナーシップ（協力関係）を形成し、患者さんと医療者は一緒になって病気の治療に当たらねばならないとする今日、ムンテラではなく、説明という言葉に置き換える勇気を、医療者全員がもってほしいものである。言葉なんてどうでも良いではないか。そんな小さな、些細なことに目くじらをたてることはないかと言われるかもしれないが、言葉の持つ意味は重大である。たった一言が人を傷つけることも、人を助けることもあることを忘れてはならないと思うのである。

（山下病院　院長）



4月有償活動	
在宅活動件数	16 件
在宅活動人数	32 人
ミニデイサービス利用者	69 人
移送サービス利用件数	259 時間
ふれあい広場利用回数	19 回
助け合い活動時間	539 時間

4月会員登録	
協力会員	45人
利用会員	60人
賛助会員	108人
合　計	231人

7月定例会

場所「まごころふれあい広場」

定例会　7月4日（日）　9：30～10：30
勉強会　家事援助について　10：30～12：30

4月介護保険活動	
利用件数	57件
生活支援	613.5時間
身体介護	623.0時間
合　計	1236.5時間

4月支援費活動	
訪問件数	27 件
身体介護	192.5時間
家事援助	68 時間
移動介護	47 時間
日常生活支援	12 時間
合　計	319.5時間